

『薩摩剣士隼人』英訳に見る翻訳のプロセス

永正 理恵子

Translation Processes Learned through
the English Translation of “Satsuma Kenshi Hayato” Manga

Rieko Nagamasa

This study analyzes some of the translation processes learned through the English translation of “Satsuma Kenshi Hayato” comic strips. An English expression for the key word in the story was selected from several options based on its semantic relation to the punchline. A pun in the manga can be realized by an English expression with a double meaning, two similar-sounding words derived from the same root, or direct use of the target Japanese word with English meanings in parentheses. Some Japanese expressions need to be converted into more natural-sounding English phrases or sentences that directly depict the message they deliver. Words from Kagoshima dialect were translated into English equivalents with the closest nuances or were used unchanged with annotations about the dialect after the story.

Key Words: [English Translation] [Translation Processes] [Manga]
[Satsuma Kenshi Hayato] [Kagoshima]

(Received September 24, 2021)

1. 『薩摩剣士隼人』英訳プロジェクトについて

『薩摩剣士隼人』英訳プロジェクトは、鹿児島純心女子短期大学英語科において2012年4月に開始した。鹿児島のご当地ヒーロー『薩摩剣士隼人』のテレビドラマや4コマ漫画等を、『翻訳法』、『サブカル英訳 ‘かごしま’』を履修する学生が課題として英訳し、それを同科目担当教員である永正（本論文執筆者）が添削し、授業で解説および模範訳の提示を行っている。模範訳については永正が作成したものを鹿児島純心女子短期大学のGlenn Forbes准教授、Matthew Watson講師がネイティブスピーカーとしてチェックし、必要のあるところは修正を行って完成させている。翻訳は必ず一つが正解ということはなく、学生の訳文が模範訳と異なる表現であっても文法的に正しく、セリフの真意やストーリーの流れに合致しており、英語と

* 鹿児島純心女子短期大学英語科（〒890-8525 鹿児島市唐湊4丁目22番1号）

してある程度の自然さが保たれていれば、採用できるものである。

学生たちは、鹿児島をテーマにしたサブカルチャーコンテンツの英訳を通して、日本語と英語の表現の違いを知り、英語の表現力と翻訳のスキルを上げるとともに、鹿児島の文化やことばについて学ぶ。また、『英語で紹介する日本文化』や『英語で案内する鹿児島』を履修する学生が、オーストラリアの高校生たちにドラマ『薩摩剣士隼人』を英訳付きで見せて、日本のキャラクター文化や鹿児島の特産物などを紹介した。2013年12月には、学生のプレゼンテーションにとどまらず、薩摩剣士隼人とヤッセンボーの実物がオーストラリアの高校生たちの前に登場し、日本のキャラクター文化を実体験してもらう企画も実現した（南日本新聞2013年12月15日17面掲載）。

鹿児島純心女子短期大学は、薩摩剣士隼人プロジェクトから改名し引き継いだ株式会社ポケットモンプロと2012年1月に産学連携協定を締結した。さらに、2017年4月には、ポケットモンプロから移行した一般社団法人チェスト連合と産学連携協定を結んだ。薩摩剣士隼人のコンテンツおよび関連のコンテンツはこれらの産学連携協定のもと、許可をもらって英訳を行っているものである。また、完成した英訳は、連携先に提供し、薩摩剣士隼人公式ホームページ（<http://hayatoproject.com>）で活用してもらっている。例えば、2012年7月には、『薩摩剣士隼人』英訳プロジェクトで制作した『薩摩剣士隼人第一部第一話』の英訳が、薩摩剣士隼人公式ホームページに英語字幕版として掲載された（<http://hayatoproject.com/english.html>）。それ以降、『薩摩剣士隼人第一部第二話』から『薩摩剣士隼人第一部第十話』までの英語字幕版と『薩摩剣士隼人第一部第一話』の英語吹き替え版が同ホームページに掲載されている（<http://hayatoproject.com/hayato-jimaku.htm>）。

2016年からは、ドラマのみならず、『薩摩剣士隼人』・『薩摩剣士隼人チェスト!!』の4コマ漫画（南日本新聞連載）の英訳も行っている。そのうちの2作品が、薩摩剣士隼人公式ホームページ（<http://hayatoproject.com>）に掲載されている（2017年5月）。

2020年には、一般社団法人チェスト連合企画の絵本『アマビエさまの3つの願い』の英訳を手がけた。「アマビエさま」は、薩摩剣士隼人と共に活動する新しいキャラクターである。一般社団法人チェスト連合の承諾と協力を得て、絵本の英訳を学生が朗読する動画を制作し、鹿児島純心女子短期大学公式YouTubeチャンネルに掲載している（<https://www.youtube.com/watch?v=YGsc4E2xO-E> 2021年3月12日）。

『サブカル英訳‘かごしま’』の授業においては、学生一人一人が課題として提出した英訳のうち、セリフごとに表現の異なる複数の訳を取り上げて、それらの訳でよいかどうか、あるいはどこをどのように修正したらよいかなどを学生たちが考え、意見を述べていく。そのうえで、教師が訳の評価・修正・解説、模範訳の提示を行っていく。教師が一方的に模範訳を示すのではなく、学生たちの異なる訳を比較することによって、本当に表現すべき意味のエッセンスが抽出され、よりよい訳を作り上げていくのに役立つ。また、表現の複数の可能性が広がり、例えば、この動詞にはこの目的語・前置詞が適切であるといったようなコロケーションの勉強にもなる。学生は、自分がセリフに合わない語を選択していたとしても、適切な訳語と比較することで、その語本来の意味・ニュアンスをあらためて知ることができる。

2. 研究の目的と範囲

今回の研究の目的は、『薩摩剣士隼人』・『薩摩剣士隼人チェスト!!』(南日本新聞連載)の4コマ漫画の英訳において見られたプロセスを分析することにある。漫画の日本語のセリフが伝えようとする意味やニュアンスをどう解釈し、どのような点を考慮して、よりよい訳としての英語表現を複数の可能性から決めていくのかを明らかにする。今回の研究の範囲は、南日本新聞連載の4コマ漫画『薩摩剣士隼人』・『薩摩剣士隼人チェスト!!』(監修：外山雄大 ©一般社団法人チェスト連合)のうち、鹿児島純心女子短期大学英語科専門教育科目『サブカル英訳‘かごしま’』で扱った漫画の英訳とする。本文中で例として出す英訳は、2019年、2020年、2021年の『サブカル英訳‘かごしま’』の学生の訳、授業内の解説、模範訳から抜粋している。学生の訳はSで示す(複数の場合はS1, S2…のように番号を振る)。なお、文法的・意味的に不正確なものは*を付ける。

3. 英訳のプロセス

3.1 漫画のストーリーやオチに合わせた表現選び

4コマ漫画の特徴の一つは、ストーリーの最後にオチがあり、ユーモアが表現されることである。オチにつながるキーワードに複数の訳が可能な場合、オチの伝えようとする意味に不可欠な要素を分析し、それを的確に表す表現を選ぶ必要がある。そのようなプロセスの例を以下に示していく。

3.1.1 「(洗濯物を)干す」

『薩摩剣士隼人』(南日本新聞2016年7月9日)(図1)の4コマ目に「今日 洗濯ものいっぱい干してきたのに…」というセリフがある。それを学生(S1, S2)は以下のように訳した。

- (1) 「今日 洗濯ものいっぱい干してきたのに…」
- (a) I dried a lot of laundry today. (S1)
- (b) I hung out a lot of laundry today. (S2)

通常、「(洗濯物を)干す」に対しては、(1a)の“dry”も(1b)の“hang out”も可能だが、この漫画では、桜島の火山灰で外に干してあった洗濯物が汚れてしまうことがオチに繋がるので、服が乾いたことよりは、外に吊るしたことを表す“hung out”(“hang out”の過去形)を使うほうが効果的である。したがって、(1b)のほうがよりよい訳と言える。

3.1.2 「今日」

『薩摩剣士隼人』(南日本新聞2016年7月9日)(図1)の4コマ目のセリフの英訳については、オチを効果的に引き立たせるためにもう一つ工夫できることがある。「今日 洗濯ものいっぱい干してきたのに…」の「今日」の部分に着目してみると、(1b)のように“hung out～today”として“today”を動詞の過去形と一緒に用いた場合、その日一日の終わりに言っているような印象になる。ところが、4コマ目では、今から桜島の火山灰が降って洗濯物が汚れる



図1: 「洗濯物を」干す, 「今日」『薩摩剣士 隼人』(南日本新聞2016年7月9日), 作:とよ, 絵:KING☆, 監修:外山雄大, © (一社) チェスト連合



図2: 「犬を放さないで」 『薩摩剣士隼人チェスト!!』(南日本新聞2020年7月15日), 作:りゅうぢ, 絵:りゅうぢ, 監修:外山雄大, © (一社) チェスト連合

であろうことになってしまっている。まだ洗濯物が干されていることがわかる。干したのは過去形で構わないが、“today”があるためにこの状況に合わないことになってしまう。このような違和感を取り除くために以下のような訳が考えられる。

(2) 「今日 洗濯ものいっぱい干してきたのに…」

“I hung out a lot of laundry this morning.”

(2) のように“today”の代わりに“this morning”を使うと、午前中に干したことになる、日中である今も洗濯物が干されていてもおかしくない。さらにこのセリフで“today”を使わないことにはもう一つメリットがある。次のセリフ「ツイてないなあ」は、1コマ目にある「最近ツイてなくて…」を受けて、今日も運がないことに落胆するところがオチになっている。したがって、「ツイてないなあ」の英訳に「今日も」の意味を加えるとこの点がさらに際立ってくる。

(3) 「今日 洗濯ものいっぱい干してきたのに… ツイてないなあ」

“I hung out a lot of laundry this morning. Not much luck today, either.”

(3) のようにすると、洗濯物が今も干されている状況がわかりやすくなるばかりか、“Not much luck”に“today”がつくことで、「今日も再び」運がないことが強調されてオチが効果的に伝わる。

3.1.3 「犬を放す」

『薩摩剣士隼人チェスト!!』(南日本新聞2020年7月15日)(図2)の4コマ目の「犬を放さないで」に対しては、以下の訳が可能である。

(4) 「犬を放さないで」

(a) Don't unleash your dogs.

(b) Don't let your dogs loose. (S)

(c) Don't set your dogs free.

「犬を放す」というのは、通常、犬の鎖やリードを外して解放するということなので、(4)の“unleash”, “let ~ loose”, “set ~ free”のいずれもその意味を表すことができる。しかし、このストーリーのオチは、コロナ禍でうちで過ごすことが多いつんつん(犬のキャラクター)に隼人が外で自由にのびのびと遊んでおいでと言ったのにもかかわらず、公園で犬を自由に遊ばせてはいけなくなっていたところなので、最適な訳は「自由」という意味を含む(4c)の“set ~ free”ということになる。(4b)の“loose”も‘not tied up’(Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English, 2020)というニュアンスでの自由さを含んではいるが、(4c)の“free”のほうが‘able to do what you want’(Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English, 2020)という意味があり、「思うままに遊ぶ」というニュアンスをよりの確に表している。

3.2 掛け詞の表現

4コマ漫画においては、同じ言葉(または類似の言葉)が異なる意味で重ねて使われることがある。掛け詞は、漫画の滑稽さを演出する大事な部分であるので、英語の表現もなるべく同

じもの（または類似のもの）を使ってまとめたい。つまり、同じ綴りや発音で異なる意味を出すことができ、セリフの中に入っても英語として不自然でない表現を探す必要がある。そのような掛け詞の表出のプロセスを以下に述べる。

3.2.1 「寝かせる・寝かされる」, 「カドがとれる・カドがたつ」… 掛け詞が伝える具体的な意味を分析して共通で使える表現を探す

『薩摩剣士隼人チェスト!!』(南日本新聞2019年4月23日) (図3) には、「寝かせる」と「寝かされる」という言葉がある。3コマ目の「寝かせて」というのは、仕込んだ黒酢を壺ごと戸外に出したままにして熟成させることであり、4コマ目の「寝かされて」というのは、漫画への登場(仕事の出番)が長い間なかったことであり、意味は異なるが、掛け詞になっておりユーモアを出している。このような効果を英語でも出したい場合、「戸外に出されて」と「仕事を干されて」の両方に使える表現があるとよい。しかし、「寝かす」という言葉にとらわれて、例えば“put to sleep”とすると、「子供を寝かしつける」, 「(退屈な映画や薬などが人を) 眠りに陥らせる」のような意味を表すことはできるものの、肝心の「戸外に出したままにする」あるいは「仕事を干される」という意味は表すことができない。そこで ‘sleep’ という概念は捨てて、「戸外または仕事の外に置かれる」というふうの意味を分解して考えると、“be left out” という共通の訳語に行き当たる。英和辞典で以下の2種類の意味を確認することができる。

(5) leave A out [out A]

【集団・リスト・議論などから】 Aを入れない, 抜かす, 落とす<of>; Aを考えに入れない, 無視する feel left out 疎外感を味わう

A〈洗濯物・車など〉を外に出して[出したままにして]おく(『ウィズダム英和辞典』2007, 2018)

(5) の用例に“feel left out 疎外感を味わう”があるが、4コマ目の「寝かされてた」には、その



図3: 「寝かせて」・「寝かされて」, 「カドがとれて」・「カドがたってる」
 『薩摩剣士隼人チェスト!!』(南日本新聞2019年4月23日), 作:りゅうぢ, 絵:りゅうぢ, 監修:外山雄大, ©(一社)チェスト連合

後の「カドがたってる」というセリフからもわかるように、アマンクロス（黒酢のキャラクター）の疎外感が表されているので、“be left out”はそのニュアンスを出すことに成功している。また、(5)によると“leave out”には「<物を>外に出したままにしておく」というもう一つの意味があるので、“be left out”で3コマ目の「寝かせて」の意味する黒酢の壺がずっと戸外に置かれていることを表すことができる。

(6) “be left out”を使った「寝かせて」と「寝かされて」の訳

(a) 「長い年月アマンつぼの中で寝かせて」(3コマ目)

“The vinegar in the pots is left out and is matured for many months.”

(b) 「ちなみにほくも長い間寝かされてたんでス」(4コマ目)

“Well, just like kurozu I was left out for ages.”

(6)のように、掛け詞「寝かせて」と「寝かされて」は、“be left out”という共通の表現で「戸外に置きっぱなしにされて」と「仕事を与えられない状態で」の両方をニュアンスも含めて訳出することができる。

この漫画には、もう一つの掛け詞がある。それは、3コマ目の「カドがとれて」と4コマ目の「カドがたってる」である。まずは、「角がとれる」を和英辞典で引くと以下のような英語で表現されている。

(7) 「角がとれる」

(a) 彼もだいぶ角がとれた (→温和になった)

He's *grown* fairly *mild* [*moderate, peaceable*]. (『フェイバリット和英辞典』2001)

(b) become mellow/mellow (『ウイズダム和英辞典』2007, 2018)

(7)の「角がとれる」の形容詞“mellow”や“mild”は、味にも用いることができるので、黒酢の熟成により「角がとれる」ことにも十分使える表現である。ただ、今回の漫画の掛け詞として考えるとき、4コマ目が「角が立っている」なので、「角がとれる」ではなく「角がとれていない、角が立っている」を味でも表したい。つまり、熟成後のまるやかさを表す“mellow”や“mild”の反意語、つまり「味がきつい、えぐみがある」という意味の英語を探してみるとよい。すると、“bitter”という語に行き当たる(『ウイズダム和英辞典』2007, 2018など)。“bitter”は英和辞典(『ジーニアス英和辞典』2015, 『ウイズダム英和辞典』2007, 2018など)で引くと、通常、「<味・薬などが>苦い」としか出ていないが、英英辞典の定義はさらに詳しく以下のようにになっている。

(8) 味に関する“bitter”の定義

– having a sharp, pungent taste or smell (*Oxford Dictionary of English*. 2010)

– (of food, etc.) having a strong, unpleasant taste (*Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English*. 2020)

(8)の定義によると、“bitter”は苦味に限らず(どちらかというとも美味ではない)刺激のある味全般を表すことがわかる。したがって、熟成前の黒酢の尖ったような味には適した表現である。このことから、3コマ目の「カドがとれて」は、“it becomes less bitter”と訳すことができる。

一方で4コマ目の「カドがたってる」は英語でどのように表現できるであろうか。和英辞典

で「角が立つ」を引くと以下の英語表現が出てくる。

(9) 「角が立つ」

- (a) 角が立つ (→人の感情を害する) ような言い方は避けるべきだ

You should avoid expressions which *offend* people. (『フェイバリット和英辞典』2001)

- (b) 智に働けば角が立つ

If we rely on intellect and logic, we will sound harsh.

そんなことを言うと角が立つよ

It will sound too harsh if you say that. (『ウィズダム和英辞典』2007, 2018)

この漫画の4コマ目の「カドがたってる」では、アマンクロス(黒酔のキャラクター)が不機嫌になっていることを表す必要がある。(9a)にある“offend people”や(9b)“sound harsh”だと相手の気分を害するという意味になり、主語になるものの感情を表さないため、このニュアンスに合わない。それでは、尖った味を表すのに適していた“bitter”は、仕事を干されていたことへの不快感を表すことができるだろうか。英英辞典を引くと、“bitter”には感情に関する以下の定義がある。

(10) 感情に関する“bitter”の定義

- (a) feeling or showing anger, hurt, or resentment because of bad experiences or a sense of unjust treatment (*Oxford Dictionary of English*. 2010)

- (b) (of people) feeling angry and unhappy because you feel that you have been treated unfairly (*Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English*. 2020)

(10)の定義から、“bitter”には不当に扱われたことに対する怒りや不満の意味があり、アマンクロスの仕事を干されていたことに対する不快感を的確に表すことができる。結論としては、“bitter”は味と感情に共通で使うことができ、この漫画の掛け詞として非常に適していることがわかる。したがって、3コマ目と4コマ目の訳は、次のようになる。

(11) “bitter”を使った「カドがとれて」と「カドがたってる」の訳

- (a) 「カドがとれて美味しくなります」

“It becomes less bitter and more delicious.”

- (b) 「カドがたってる」

“He's getting bitter.”

(11a)のように、「カドがとれて」は“becomes less bitter”として“less”で“bitter”の程度を弱めることで表現できる。「カドがたってる」は、彼(アマンクロス)を主語にして“He's getting bitter.”とすることで苦々しく思っている感情を表すことができる。前述の「寝かされて」の“be left out”の疎外感ともマッチしている点もよい。一見難しそうに見える掛け詞も、具体的な意味に解釈し直していくことで、英語でも共通の表現が見つかり、掛け詞の効果を実現することが可能になる。

3.2.2 「ゴロゴロ」, 「雷が落ちる」… 他のセリフのところで掛け詞を実現する

『薩摩剣士隼人チェスト!!』(南日本新聞2018年6月21日)(図4)では、2種類の掛け詞がある。1つ目は「ゴロゴロ」で、2つ目は「雷が落ちる」である。

「ゴロゴロ」は、1～3コマ目では雷の音を、4コマ目ではくぐり狐衆が家で寝転んで怠けているのを表している。雷の音の英語表現については、和英辞典の「ごろごろ」や英和辞典の“thunder”の用例にある「雷が鳴る」を参考にすると以下のようなになる。

(12) 雷の鳴る音としての「ゴロゴロ」

(a) 「ごろごろ」

一晩中雷がごろごろ鳴っていた

Thunder was rumbling all night. (『ウィズダム和英辞典』2007, 2018)

(b) 「雷が鳴っている」

The *thunder* is roaring [rumbling, rolling]. (『ウィズダム英和辞典』2007, 2018)

(12) の例から、雷の「ゴロゴロ」には“rumble”, “roar”, “roll”などが使えることがわかる。一方で、家で寝転んで怠けているという意味の「ゴロゴロ」はどうだろうか。

(13) 寝転んで怠けるという意味の「ゴロゴロ」

(a) 彼は働きにも行かないで家でゴロゴロしている

He is *lazing* [*hanging, loafing*] *around* at home without going to work. (『ウィズダム和英辞典』2007, 2018)

(b) 家でゴロゴロしているのはもったいないくらいいい天気だ

It's much too nice a day to *spend lying about* at home. (『フェイバリット和英辞典』2001)

(13) の例から、家で怠けている意味の「ごろごろ」は“laze around”, “hang around”, “loaf around”, “lie about” (“lie about”の項には“lie around”も可能とある)で表現できる。しかし、雷の「ごろごろ」である“rumble”, “roar”, “roll”などと共通の意味で使える表現はない。よって、この掛け詞を英語で同じ語や類似の音の語で表すことを諦めて、それぞれの意味に忠実に別々の表現をすることも翻訳として問題はない。しかし、何らかの方法で掛け詞の面白さを英語でも表出することはできないだろうか。一つは、「ゴロゴロ」をそのまま“goro goro”と表記し、括弧で意味を示すというやり方である。例えば、1コマ目は“goro goro (rumble)”, 2コマ目は“Did you hear that ‘goro goro’ (thunder)?”, 3コマ目は“goro goro (roar)”, 4コマ目は“‘They’re doing ‘goro goro’ (lying around).”とすることで音の本来の響きと重ねた言葉の面白さを読者に味わってもらえることができる。ひいては、日本語学習者にとっては日本語の擬態語の勉強になるかもしれない(そのような読者を意識した場合、漫画が終わった後に日本語の「ごろごろ」について解説を設けるのも一つの手である)。

さて、次はもう一つの掛け詞である「雷が落ちる」に着目してみよう。2コマ目の「おちる」では文字通り雷が地上に落ちるという意味であり、4コマ目の「おちそう」では「大声で叱られる」ことを意味している。

(14) 「雷が落ちる」(「落雷する」の意)

(a) 彼の家に雷が落ちた

Lightning [×A thunder] hit [struck] his house. (『ウィズダム和英辞典』2007, 2018)

(b) 雷が校庭の木に落ちた

Lightning hit [struck] a tree in the schoolyard. (『フェイバリット和英辞典』2001)



図4:「ゴロゴロ」, 「雷が落ちる」
『薩摩剣士隼人チェスト!!』(南日本新聞2018年6月21日), 作:リゅうぢ, 絵:リゅうぢ, 監修:外山雄大, © (一社) チェスト連合



図5:「ドロドロ」
『薩摩剣士隼人チェスト!!』(南日本新聞2019年6月2日), 作:リゅうぢ, 絵:リゅうぢ, 監修:外山雄大, © (一社) チェスト連合

(15) 「雷が落ちる」(「大声でどなりつけて叱る」の意)

(a) 彼は勉強を怠けてばかりいたので親の雷が落ちた

His father *scolded* him at last for having neglected his studies for a long time. (『フェイバリット和英辞典』2001)

(b) 宿題をしていかなかったので先生の雷が落ちた (先生は私を叱り飛ばした)

(《話》) The teacher *bawled me out* for not doing my homework. (『ウイズダム和英辞典』2007, 2018)

(14) と (15) の例から、通常、落雷するほうは “Lightning hit/struck ~” で表現し、叱責のほうは “scold” や “bawl ~ out” で表すことがわかる。前者で後者、または後者で前者の意味を表すことはできないか、あるいは他の表現で両方の意味を表すことはできないか模索してみるが、それは難しいことがわかる。そのまま、別々な表現で訳をつけることに問題は無い。

しかし、ここも別な手法で掛け詞の面白さを表わすことができる。1つ目の掛け詞「ゴロゴロ」の訳語 ‘roar’ は、雷のような無生物の音 (16a) に加えて、人の声 (16b) にも使うことができる。

(16) “roar” の定義

(a) a very loud, deep, prolonged sound made by something inanimate: *the roar of the sea.* (Oxford Dictionary of English. 2010)

(b) a loud, deep sound uttered by a person or crowd, generally as an expression of pain, anger, or approval: *he gave a roar of rage.* (Oxford Dictionary of English. 2010)

(16b) からわかるように、‘roar’ には怒鳴ること、怒号といった意味がある。これはまさしく先ほどの叱責の場合の「雷が落ちる」と類義である。したがって、4コマ目の「けっこう近くにおちそうね」(=けっこう近くに雷が落ちそう)の意味する「ゴロゴロして怠けている仲間がボスであるヤッセンボーに怒鳴られそうである」ことを表すのに適している。最終的に、「けっこう近くにおちそうね」は、“A thunder-like roar is coming our way.”と訳することができる。主語は“a roar”だけでもよいが「雷が落ちる」という日本語のニュアンスをさらに出すために“thunder-like”を加えることもできる。

「ゴロゴロ」と「雷が落ちる」の両方を絡めた全体の訳は以下ようになる。

(17) 「ゴロゴロ」と「雷が落ちる」の掛け詞を考慮した漫画全体の訳 (数字はコマを表す)

- ① 「ゴロゴロ…」 *goro goro* (rumble)
 ② 「ゴロゴロいったね」 Did you hear that “goro goro” (thunder)?
 「じきにドーンとおちるかも」 The lightning will hit the ground before we know it.
 ③ 「ゴロゴロ…」 *goro goro* (roar)
 ④ 「ゴロゴロ やってるね」 They’re doing “goro goro” (lying around).
 「けっこう 近くにおちそうね」 A thunder-like roar is coming our way!

(17) からわかるように、4コマ目の「(雷が) けっこう近くにおちそうね」に、2コマ目の「(雷が) おちるかも」と同じ英語表現を用いることができなくても、3コマ目の「ゴロゴロ」の“roar”を重ねて使うことで、この漫画における掛け詞の面白さを表出することができる。

3.2.3 「ドロドロ」… 派生語で韻を踏ませて掛け詞を実現する

『薩摩剣士隼人チェスト!!』(南日本新聞2019年6月2日)(図5)においては、2コマ目と4コマ目の「ドロドロ」が掛け詞になっている。2コマ目の「ドロドロ」は液体の状態を表し、4コマ目は人間関係の様子を表す。まず2コマ目では、牛乳が少し固形化し濃厚になることを表しているの、順当にいくと “It became thicker!” で表すことができる。一方、4コマ目の人間関係が複雑で良好でない様子は、“Is your relationship with your friends complicated?” や “Are you having some trouble with your friends?” などのように表すことができる。しかし、掛け詞としての効果を出したいのであれば、「ドロドロ」の英語表現は同じもの、あるいは類似のものが望ましい。つまり、液体と人間関係の両方に当てはまる表現が必要になる。

まず、2コマ目の液体の「ドロドロになった」を前出の “thick” のような形容詞にとらわれずに広げて考えてみる。続くセリフに牛乳がヨーグルトみたいになったとあるところから、「ドロドロ」をヨーグルトに近い質感の他の物で端的に表し瞬時にイメージを想起させる方法(アナロジー)を用いることが考えられる。例えば、黒酢ドリンクと同じ飲み物であるところの “shake (milkshakeの略)” を使ってみる。すると、2コマ目は “It’s like a shake now!” とすることができる。

それでは、この “shake” を4コマ目の「ドロドロ」に使うことはできるか。同じ “shake” を用いることはできないが、語尾の1文字・1音を除けば同じ綴り・発音である “shaky” は可能である。この “shaky” には「<状況が>不安定な、あやうい」(『ウィズダム英和辞典』2007, 2018) という意味があり、英英辞典でも同様の定義になっている。

(18) “shaky”

not safe or reliable; liable to fail or falter: thoroughly shaky evidence | after a shaky start the Scottish team made superb efforts. (*Oxford Dictionary of English*. 2010)

(18) の定義にあるように、“shaky” は「不安定でうまくいかない」状態を表すので、人間関係が良好でない様子を意味する「ドロドロ」の訳語として適している。これにより、4コマ目の「なんか人間関係ドロドロしてます?」は、“Is your relationship with your friends shaky?” という表現になり、2コマ目の “It’s like a shake now!” の “shake” と韻を踏み、掛け詞としての面白さを出すことができる。また、“shake” と “shaky” は動詞 “shake” の派生語同士で根本的な意味で繋がっている点も強みである。少し惜しいのは、“shake” と “shaky” が [ʃ] という清音のために「ドロドロ」の持つ重い粘性の雰囲気伝えきれない点である。しかし、そこまで表し切る理想的な表現はなかなか見つからない。無理をして不自然な訳語を充てがうよりは、重要度の低いことは割愛するという選択も翻訳においては大切である。

3.3 セリフの真意を伝える自然な表現への転換

時として、セリフの日本語の構造や表現方法を保ったまま直訳してしまうと、英語としては不適格な構造や不自然な表現となり意味が伝わらないことがある。そのような場合は、セリフが本当に伝えたいことは何かを考え、英語としてより自然な表現でその真意を伝える工夫が必要である。そのような訳に行き着くプロセスを以下に述べる。

3.3.1 「中途半端な時間」

『薩摩劍士隼人』(2014年3月9日南日本新聞)(図6)には、「中途半端な時間」という表現が出てくる。2コマ目の「なんでそんなに中途半端な時間なんですか？」に対して、以下のような学生の訳が見られた。

(19) 「なんでそんなに中途半端な時間なんですか？」

- (a) *Why did you write halfway time ? (S1)
- (b) *Why did you write such a half-hearted time ? (S2)
- (c) *Why are you writing indecisive time ? (S3)
- (d) *Why did you write such unsatisfactory time as the meeting time ? (S4)

「中途半端」を和英辞書(『ウィズダム和英辞典』2007, 2018など)で引くと、確かに(19)にある“halfway”, “half-hearted”, “indecisive”, “unsatisfactory”のような語が出てくる。しかし、(19a)の“halfway”は目標の半分程度しか到達していないことを、(19b)の“half-hearted”は気持ちが十分に入っていないことを、(19c)の“indecisive”は決断ができていないことを、(19d)の“unsatisfactory”は満足のいかないことを、それぞれ表している。これらの表現全てが、この漫画の「中途半端な時間」の意味を表さず、“time”の修飾語としても通常使われない。他に適切な形容詞があるかと考えた場合、見つけるのはなかなか難しい。

それでは、ここで言うところの「中途半端な時間」をどのように英語で伝えるのがよいだろうか。そのためには、ここで本当に言いたい意味が何なのかを突き詰めてみる必要がある。まず考えられるのは、「正時ではない時刻」ということである。「正時」を辞書で引くと、“the hour, on the hour”などとあるが、“strike [sound] the hour”「〈時計が〉1時間ごとに時を打つ〔音で〕知らせる」(『ウィズダム和英辞典』2007, 2018)や「バスは正時に来る」“The bus comes on the hour”(『ウィズダム和英辞典』2007, 2018)のように、コロケーションがかなり限られているため、「果し合いの時刻をなぜ正時としないのか」を*“How come you don't say the hour?”などとしても全く意味をなさない。このように“the hour”も使えないとなると、どうすればよいのか。この漫画における「中途半端な時間」とは、「午後1時ちょうどではなく午後12時45分」ということなので、それを具体的に表すのが一番よい解決策と言える。したがって、以下のような訳文となる。

(20) 「なんでそんなに中途半端な時間なんですか？」

“How come you say 12:45 instead of one o'clock sharp (または one o'clock on the dot) ?”

(20)の“12:45 instead of one o'clock sharp”という具体的時刻を表す訳文において、正時である1時のほうにその時刻はっきりという意味を表す“sharp”を用いて対比させることで、「中途半端」のニュアンスを出すことができる(“sharp”は、“on the hour”などと違って一回きりの具体的時刻にも使用でき、会話表現としても違和感がないのでその点でも訳語として適切である)。(20)の具体的な時刻を入れた訳文のもう一つの利点は、果たし状の絵の「十二時四十五分」という日本語が読めない読者がストーリーを理解するのに役立つことである。翻訳においては、このような読者への配慮も大事な要素となる。



図6：「中途半端な時間」
『薩摩剣士隼人』（南日本新聞2014年3月9日），
作：榎戸盆子，絵：榎戸盆子，監修：外山雄
大，©（一社）チェスト連合



図7：「桜のつぼみ ふくらんできたねー」
『薩摩剣士隼人チェスト!!』（南日本新聞2019
年3月24日），作：りゅうぢ，絵：りゅうぢ，
監修：外山雄大，©（一社）チェスト連合

3.3.2 「桜のつぼみ ふくらんできたねー」

『薩摩剣士隼人チェスト!!』(南日本新聞2019年3月24日)(図7)は、桜の開花予想をテーマにしている。その中に「桜のつぼみ ふくらんできたねー」というセリフがある。これに対する学生の訳には以下のようなものが見られた。

(21) 「桜のつぼみ ふくらんできたねー」(矢印以下は修正を示す)

- (a) The cherry trees are budding. (S1)
- (b) *Cherry buds are beginning to swell. (S2) (→The cherry buds ~.)
- (c) *Cherry blossom seems to start blooming. (S3) (→The cherry trees seem to have started ~.)

(21a) は、桜が蕾を付けつつあることを述べており、花が咲きそうであることは示していない。(21b) は原文と同じ文構造で、「蕾」を意味する“buds”を主語に、「膨らむ」を意味する“swell”を述部に使っている。和英辞書(『ウイズダム和英辞典』2007, 2018)に、“a swollen rose bud (ふくらんだバラのつぼみ)”という“bud”に“swell”を使っている例があるのでコロケーションとしては問題なさそうである。しかし、(21b) では“are beginning to swell”と言っているので、膨らみ始めたということ、膨らみがまだ小さめである、あるいは膨らんだ蕾が一部見られるといったイメージになる。それでは、“The cherry buds are swollen” とするとどうだろうか。蕾が膨らみ切った感じを表してはいる。しかし、どちらかと言うと、木の成長観察をしていて蕾の状態を淡々と述べているような表現になっている。

「桜のつぼみ ふくらんできたねー」というセリフが本当に伝えたいことは、このストーリーの続きで開花予想が出てくるように、「間もなく桜の花が咲きそう」であるということである。その観点で(21c)の訳を見ると、“blossom”や“bloom”という語があり、蕾より開花のほうに着目しているところは評価できる。しかし、“start blooming”としているので、すでに花が咲き始めていることになってしまう。また、主語の“blossom”と述部の“bloom”が意味的に重なっているのでどちらかを他の語を変えるとコロケーションが改善される。そこで、“bloom”を生かして「桜が間もなく開花しそうである」という表し方に変えてみると、以下の訳になる。

(22) 「桜のつぼみがふくらんできたねー」→「桜が間もなく開花しそうだねー」

“The cherry trees are about to bloom.”

(22) の訳だと、英語表現としても自然で伝わりやすい。「桜のつぼみがふくらんできたねー」の真意は、事象の直接的描写ではなく、桜の開花を待ちわびる心情であり、日本人にとっては挨拶にも似た馴染みのある表現である。この点とストーリーの主眼が開花にあることを合わせると、(22) の訳が前述の“buds”や“swell”を使った直訳よりも優れていると言える。この漫画の最後に、日本人の多くが桜の開花を春の訪れの象徴として心待ちにし「開花予想」というものが発表されることを解説としてつけるのもよいだろう。そうすることで、桜にまつわる日本文化の一端が伝わり、この漫画の味わいが増すであろう。

3.4 鹿児島方言を伝える表現

『薩摩剣士隼人』・『薩摩剣士隼人チェスト!!』の4コマ漫画のユニークな特徴の一つは、鹿児島方言がセリフに使われることである。名詞、形容詞、動詞などの内容語が方言である場合には、言葉の意味を正しく理解し、独自のニュアンスも含めて表出する英語表現を精選する必要がある。また、ストーリーにおけるキーワードが鹿児島方言である場合は、その語をそのまま表記し、英語の意味を補足した上で、ストーリーの後記としてそれが鹿児島方言であることを解説する方法もある。このような方言の英訳のプロセスについて、以下に具体例を見ていく。

3.4.1 「やっせんぼう」

『薩摩剣士隼人』(南日本新聞2014年3月13日)(図8)の漫画では、「やっせんぼう」という言葉が出てくる。2コマ目のセリフにあるように、鹿児島方言の「やっせんぼう」というのは、標準語でいうところの「弱虫」である。「弱虫」の英訳としては、“coward”, “crybaby”, “weakling”, “chicken”などの語が和英辞典(『ウィズダム和英辞典』2007, 2018)に挙げられており、学生の訳にも使われている。これらの語は、英英辞典(*Oxford Dictionary of English*, 2010)によると、次のような定義になる。

(23) 「弱虫」に相当する英語表現の定義

(a) “crybaby”

a person, especially a child, who sheds tears frequently or readily

(b) “weakling”

a person or animal that is physically weak and frail

(c) “coward”

a person who is contemptibly lacking in the courage to do or endure dangerous or unpleasant things: *they had run away -the cowards!*

(d) “chicken”

a coward

(23a)の定義によると、“crybaby”は「泣き虫」という意味で子供に使うことがわかる。また、(23b)の“weakling”は身体の弱さを主に意味する。鹿児島方言の「やっせんぼう」は、泣くことや体の力が弱いことよりは、「気概・勇気がない」・「意気地無し」という内面の性質のほうが強く打ち出される言葉である(この漫画に登場している「ヤッセンボー」というキャラクターはまさにそのような性格である)。この意味合いに最もよく合致しているのは、(23c)の“coward”である。(23d)の“chicken”も辞書では“coward”と同義となっているが、登場しているヤッセンボーが狐のキャラクターなので、急に“chicken”という言葉が出てくると「鶏」のほうと混乱する可能性がある。これらのことから、“coward”が鹿児島方言でいうところの「やっせんぼう」の意味合いを一番よく表し、訳語として最適であると結論付けることができる。



図8:「やっせんぼう」

『薩摩剣士隼人』(南日本新聞2014年3月13日),
作:原田英樹, 絵:モハラ, 監修:外山雄大,
© (一社) チェスト連合



図9:「そい」

『薩摩剣士隼人チェスト!!』(南日本新聞2020年4月7日),
作:りゅうぢ, 絵:りゅうぢ, 監修:
外山雄大, © (一社) チェスト連合

3.4.2 「そい」

『薩摩剣士隼人チェスト!!』(南日本新聞2020年4月7日)(図9)では、鹿児島方言の「そい」という言葉が出てくる。「そい」は標準語でいうところの指示詞「それ」である。漫画の3コマ目で茶くれ爺(お茶のキャラクター)が「そいじゃが!」と言っているが、隼人の「レッドビーンズじゃ!」を肯定して「それだ!」と言っていることになる。そのまま英訳すると、“That’s it!”となる。しかし、4コマ目で、この鹿児島方言の「そい(soi)」を英語の「ソイ(soy)」と間違われ、「ソイは大豆だよ~」,「ソイは大豆やっど~」とツッコミを入れられるところがユーモアになっているので、3コマ目の「そいじゃが!」は「そい」という言葉を残さないと話がつながらない。したがって、3コマ目は“Soi jaga!(That’s it!)”のように、「そい」の発音“soi”がわかるように原文をアルファベット表記し、意味を括弧で示すという手法を取ると、次の「ソイ(soy)」との関連が明確になる。また、4コマ目の最後のセリフ「いや、その『そい』じゃ…」も、そのまま“No, I didn’t mean ‘soy’ …”でもよいが、“No, I didn’t mean ‘soy’ …I meant ‘soi’ (= ‘that’).”と言葉を足すとよりわかりやすい。さらに、日本語を知っている読者のために、漫画の最後に「そい」が鹿児島の方言であることを説明する以下のような文を加えることもできる。

(24) 「そい」についての解説

Note: “Soi” in Kagoshima dialect equals “sore” in standard Japanese, which means ‘that’ or ‘it’.

“Jaga” is “desu” (‘be’) in standard Japanese, so “Soi jaga” means “That’s it” (=“Sore desu”).

漫画のセリフの中にあまり説明的なことばを盛り込みすぎでは話の腰を折ってしまうので、あくまでも漫画のストーリーが終わったところで、(24)のような解説をつけるとよいだろう。漫画の翻訳の目的の一つは、海外の読者(特に漫画を愛好する人たち)に日本の文化やことばを伝えることである。実際、この漫画の英訳を行った学生の一人は、その点を意識して、“People say “Soi” for ‘it’ in Kagoshima. Hayato and Tsuntsun mistook “Soi” for “soy”.” というようなわかりやすい説明を漫画の最後につける配慮をしていた(なお、この学生訳には文法的修正を加えてある)。このような解説があることで、すでに日本語を学習している読者であっても、鹿児島方言の一端を知ることができ、鹿児島という地域あるいは日本語の方言に興味を持つきっかけになるであろう。翻訳においては、読者をイメージして配慮を加えることも大事な要素である。

4. 結論および今後の展望

今回の研究では、主に、オチや掛け詞といった漫画に類する手法、英語と表現方法が異なる日本語、独自のニュアンス・発音を持つ方言といった観点から、翻訳のプロセスを分析した。その結果、明らかになったのは以下の点である。

1. オチにつながるキーワードについては、オチの伝えようとする意味に不可欠な要素を表現できる訳語を選ぶ。
2. 掛け詞は、その言葉が表す2つの意味を持つ同一の英語表現、または発音や綴りが類似する2つの表現(派生語など)を使う。

3. 掛け詞に同一または類似の英語表現が見つからない場合は、日本語のまま表し英語の意味を付記したり、他のセリフのところで同じ英語表現を用いたりして効果を出す。
4. 日本語の構造・表現方法のままで訳すと英語として不自然になるものは、セリフの真意を読み解いて、英語としてより自然な構造・表現に置き換える。
5. 方言の言葉については、独自のニュアンスを的確に捉えた上で最も近い英語表現に訳すか、またはその言葉をそのままセリフに使い、漫画の後に解説をつけるかとする。

漫画の翻訳においては、セリフの日本語や方言の根本的な意味やニュアンスを掴み、訳の候補である複数の表現について英英辞書等の細かい定義やニュアンスを比較し、セリフの真意に最適なものを選定する。さらに、英語表現として自然であるか、漫画の特徴であるユーモアが効果的に伝わるか、読者が理解しやすいかなど、多面的に吟味・工夫しながら、よりよい訳へ仕上げていく。

今後の研究としては、動詞の選択とコロケーション、代名詞の選択、リピートの回避、アナロジーなどの他の翻訳のプロセスについて分析を行いたい。そこで得られた成果も含めて、『薩摩剣士隼人』・『薩摩剣士隼人チェスト!!』の漫画の英訳を、翻訳のプロセスごとに整理し、翻訳スキル習得のための教材として発展的に活用していきたい。また、漫画には、登場キャラクター（発話者）相互の関係性、発話の目的（発話行為）、場面設定、起承転結のストーリー（文脈）といった会話のコミュニケーションに不可欠な要素が盛り込まれているため、コミュニケーション的な英語表現の学習に向いている。ポイントごとの演習問題を作るなどして、英語学習者が英語表現を学ぶ教材としての開発も進めたい。

さらに、『薩摩剣士隼人』・『薩摩剣士隼人チェスト!!』の漫画には、慣用句・擬態語などの日本語表現、日本の風習、鹿児島の特産物・方言なども出てくるため、英訳の後の解説を充実させることで日本語学習者向けのコンテンツに応用することもできる。英訳を手がける学生たち自身が解説を作成することで、日本や鹿児島についての学びを深め、発信型の英語表現を磨く機会にもなりえる。また、制作したコンテンツを使って、外国の人々に日本や鹿児島を紹介するセッションを行うことで双方向の学びとなるであろう。

このように『薩摩剣士隼人』・『薩摩剣士隼人チェスト!!』の漫画の英訳は、多様なポテンシャルを秘めている。今後の研究および教育への応用を積極的に進めていきたい。

謝辞

『薩摩剣士隼人』、『薩摩剣士隼人チェスト!!』の本論文への掲載についてご許可いただいた一般社団法人チェスト連合に心より感謝いたします。

参考文献

- 浅野博（編）（2001）『フェイバリット和英辞典』東京書籍、東京。
- 井上永幸、赤野一郎（編）（2007）『ウィズダム英和辞典 第2版』三省堂、東京。（macOS内蔵）
/The Wisdom English-Japanese Dictionary. Copyright© 2007 Sanseido Company Ltd., under licence to Oxford University Press.

- 井上永幸, 赤野一郎 (編) (2018) 『ウィズダム英和辞典 第4版』三省堂, 東京. (macOS内蔵) /*The Wisdom English-Japanese Dictionary*. Copyright© 2018 Sanseido Company Ltd., under licence to Oxford University Press.
- 岸野英治 (編) (2018) 『ウィズダム和英辞典 第3版』三省堂, 東京. (macOS内蔵) /*The Wisdom Japanese-English Dictionary*. Copyright© 2018 Sanseido Company Ltd., under licence to Oxford University Press.
- 小西友七 (編) (2007) 『ウィズダム和英辞典』三省堂, 東京. (macOS内蔵) /*The Wisdom Japanese-English Dictionary*. Copyright© 2007 Sanseido Company Ltd., under licence to Oxford University Press.
- Lea, Diana and Jennifer Bradbery (ed.) (2020) *Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English 10th Edition*. Oxford University Press, Oxford.
- 南出康世 (編) (2015) 『ジーニアス英和辞典 第5版』大修館書店, 東京.
- Stevenson, Angus (ed.) (2010) *Oxford Dictionary of English 3rd Edition*. (macOS内蔵) /Copyright © 2010, 2019 by Oxford University Press.
- 外山雄大 (監修) (2014a) 『薩摩剣士隼人』(南日本新聞2014年3月9日), 作: 榎戸盆子, 絵: 榎戸盆子, © (一社) チェスト連合
- 外山雄大 (監修) (2014b) 『薩摩剣士隼人』(南日本新聞2014年3月13日), 作: 原田英樹, 絵: モハラ, © (一社) チェスト連合
- 外山雄大 (監修) (2016) 『薩摩剣士隼人』(南日本新聞2016年7月9日), 作: とよ, 絵: KING ☆, © (一社) チェスト連合
- 外山雄大 (監修) (2018) 『薩摩剣士隼人チェスト!!』(南日本新聞2018年6月21日), 作: りゅうち, 絵: りゅうち, © (一社) チェスト連合
- 外山雄大 (監修) (2019a) 『薩摩剣士隼人チェスト!!』(南日本新聞2019年3月24日), 作: りゅうち, 絵: りゅうち, © (一社) チェスト連合
- 外山雄大 (監修) (2019b) 『薩摩剣士隼人チェスト!!』(南日本新聞2019年4月23日), 作: りゅうち, 絵: りゅうち, © (一社) チェスト連合
- 外山雄大 (監修) (2019c) 『薩摩剣士隼人チェスト!!』(南日本新聞2019年6月2日), 作: りゅうち, 絵: りゅうち, © (一社) チェスト連合
- 外山雄大 (監修) (2020a) 『薩摩剣士隼人チェスト!!』(南日本新聞2020年4月7日), 作: りゅうち, 絵: りゅうち, © (一社) チェスト連合
- 外山雄大 (監修) (2020b) 『薩摩剣士隼人チェスト!!』(南日本新聞2020年7月15日), 作: りゅうち, 絵: りゅうち, © (一社) チェスト連合